

令和6年度富岡市立一ノ宮小学校経営方針

1 学校教育目標

(1) 基本目標

進んで学び、心豊かで、たくましい児童の育成

「かがやく瞳と あふれる笑顔の 宮小っ子」

(2) 具体目標（めざす子供の姿）

- 夢・・・夢をもち、進んで学ぶ子供【確かな学力の育成】
- 人・・・人に学ぶ、心豊かな子供【豊かな人間性の育成】
- 里・・・里から育つ、たくましい子供【健やかな体の育成】

2 学校経営基本方針

「最高の普通」の学校を目指して

～精選された日常の教育活動の中に、明確なねらいと組織的な取組が見える学校経営～

(1) 信頼され魅力ある学校づくり

教職員一人一人が教育公務員としての誇りと学校運営への参画意識をもち、強みを生かし弱みを互いに補い合いながら組織的な学校運営を推進する。

(2) 未来に生きる力の育成

専門性を生かし、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。また、特別支援教育の視点を取り入れ、プロアクティブで組織的な生徒指導を推進する。

(3) 安全、安心な学校づくり

いじめのない、規律と居場所のある学級・学年経営を推進するとともに、組織的に安全管理・保健教育の充実を図る。

(4) 社会との連携・協働

教育目標・教育活動の目的を地域や保護者と共有し、コミュニティスクールとして地域の資源を意図的・計画的に活用しながら社会と共にある学校運営を推進する。

(5) 働き方改革の推進

教育課程の改善、教育活動の精選等により、教職員が子供と向き合う時間や自分の生活を充実する時間を確保し、子供たちに対してより効果的な教育活動を提供する。

3 学校経営具体方針

(1) 確かな学力の育成

- 学力向上コーディネーターを核とし、組織的・計画的に学力向上対策を推進する。
- ICT機器の活用を図り、個別最適な学び、協働的な学びを実現し、各教科の目標の達成を目指す。また、一人一授業や公開授業への参加等を通して、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。
- 問題解決的な学習、体験的な活動を重視し、子供が表現する機会を保障する。
- 児童自らが将来の夢や希望をもち、その実現に向けキャリア教育の充実を図る。

- 家庭学習や読書習慣の充実を図る。

(2) 豊かな人間性の育成

- 子供一人一人のよさを認め、プロアクティブな生徒指導を推進し、自己有用感・自尊感情の高揚に努め、自己指導力の獲得を目指す。
- いじめの未然防止、積極的認知、早期発見・早期対応に取り組み、規律と居場所のある学級経営を行う。
- 家庭や地域と連携し、挨拶や返事、約束や決まりを守る等の基礎的・基本的な生活習慣・態度の育成を図る。
- 組織的な道徳教育、人権教育を推進し、思いやりの心と自他の生命を尊重する態度を養う。

(3) 健やかな体の育成

- 運動に親しむ環境づくりと、体を動かすことの楽しさや充実感を味わう授業の充実を図る。
- 学校給食と関連付けた計画的な食育の推進を図る。
- 児童自ら感染予防へ向かう態度の育成と、予防行動を習慣化させる保健管理・保健教育を推進する。

(4) 学校安全・危機管理

- 子供の視点に立った安全・防災教育を充実し、危険予知や危機回避の能力の育成を図る。
- 感染防止対策ガイドラインを踏まえた組織的な予防体制を構築する。
- 通学路・学校施設の安全点検の徹底と危険箇所への迅速な対応に努める。

(5) 家庭や地域社会との連携・協働

- 学校運営協議会を基盤に、家庭や地域と目標を共有し、地域資源を積極的に活用すると共に、情報や成果を公開していく。
- ICT機器等を活用し、地域や保護者と情報を共有するシステムを構築し、迅速かつ適切な連携に努める。

(6) 施設・設備

- 西中校区3小学校において、さくら小学校開校に向けた施設・設備の調整・充実を図る。
- 学校の施設・設備の定期・不定期による点検と迅速な対応に努める。

(7) 業務改善・組織運営

- 教育活動の目的を再確認し、教員がやるべき業務の視点から教育課程の精選、改善を図る。
- 教職員が休暇をとりやすくする体制の構築と雰囲気づくりに努める。
- ICT機器を積極的に活用し、実質的な業務の能率化に繋げる取組を推進する。